



地元の応援を力に変えて いわてグルージャ盛岡が当町を訪問

6月19日、日本プロサッカーチームのいわてグルージャ盛岡の藤井航大選手と菊池利三GMが町役場を訪問しました。いわてグルージャ盛岡は岩手県内の33市町村全てをホームタウンとしていて、6月27日に開幕の開幕に向けて各市町村を訪問し今シーズンの応援を呼び掛けています。藤井選手は「開幕の日程が決まり、J3優勝とJ2昇格という目標に向けチームが動き出している。応援よろしくお願ひします」と今シーズンにける決意を語ってくれました。



佐々木さんが瑞宝単光章を受章 【春の叙勲】消防功労

令和2年春の叙勲で、前消防団長の佐々木吉夫さん(18区)が瑞宝単光章を受章しました。佐々木さんは昭和54年に消防団に入団し、退団するまでの40年間、本部長、副団長などを歴任。平成27年から団長として、団員の育成や人命、財産を守る消防活動に尽力されました。佐々木さんは「受章は、これまでの先輩方や地域の方々のおかげ。今後も培った消防精神を微力ながら地域のために発揮し、貢献したい」と受章の喜びと抱負を話していました。



観光関連企業の支援を要望 観光協会が要望書を提出

平泉町観光協会の千葉力男会長らが、6月18日に町役場を訪れ、青木町長が「町内観光関連事業者の支援に関する要望書」の提出を受けました。要望は、▷休館・休業を余儀なくされた観光関連施設への負担金支援、▷事業者雇用確保ならびに雇用維持の支援▷資金繰りが悪化している事業者への支援▷町内の伝統行事やイベントの開催、維持支援一の4項目です。青木町長は「要望の中身を精査し対応していきたい」と答えました。



健康づくりは日々の運動から いきいき百歳体操が再開

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動を休止していた「いきいき百歳体操」を各地区で再開しました。6月12日に再開した2区公民館では、始める前の椅子の消毒や室内の換気、三密を避けるために参加者同士の間隔を十分に取って体操を開始しました。2区いきいき百歳体操会代表の神野富江さんは「再開前と同じ体操なのに時間が長く感じた。久しぶりにみんなの顔が見られてよかった」と再開の喜びを話してくれました。

笑顔あふれる最後の試合 一関地方「心の絆」交流体育大会

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止となった県中総体に代わり、選手たちの集大成の場として6月20日から21日にかけて一関市内で「心の絆」交流体育大会が開催されました。各競技とも感染症予防対策で観客は保護者のみで、応援に行けない生徒に代わり美術部が作成した応援の横断幕を持って試合に臨みました。最後の試合を終えた野球部の選手たちは、試合ができる喜びを感じ晴れ晴れとした笑顔で大会を締めくくりました。



中小企業に追加支援を求める 商工会が要望書を提出

6月12日、平泉商工会の高橋幸喜会長らが町役場を訪れ、青木町長が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため売り上げが減少した「中小・小規模事業所への支援を求める要望書」の提出を受けました。要望は、▷商工業者の事業継続を後押しする追加支援▷感染防止対策への支援▷雇用者数や事業規模を考慮した実態に応じた支援▷状況が安定するまでの支援継続▷景気回復施策の実施一の5項目からなる要望です。



日頃の練習の成果を発揮 長島幼年消防クラブ発会式鼓隊演奏

6月23日、長島体育館で長島保育所の幼児による長島幼年消防クラブの発会式が行われました。幼年消防クラブは、防火・防災体験をとおして将来の火災予防の基礎を養い育てることを目的に活動しています。例年は式後に幼児たちが拍子木を持ちパレードをしていましたが、今年は中止して式後に鼓隊演奏を行いました。日頃練習に取り組んできた幼児たちの元気な演奏とダンスを出席者に披露しました。



日頃の取り組みに感謝 身体障害者協議会総会

6月15日、福祉活動センターで令和2年度身体障害者協議会の総会が開催されました。総会に出席した青木町長は「障害のある人も健常者も安心して暮らせる町にしたい。一人一人が障害がある人の相談にのってもらいたい」と日頃の取り組みに対し感謝を述べました。高倉秀維会長からも「会員の皆さんは、ご自身に障害がありながらも活躍していることに感謝したい」と活動に対する思いを伝えました。